

ICA理事長Frank Kane氏が来日

2005年12月14日～16日、ICA（国際銅協会）の活動紹介および日本銅センターとの親睦を図るため、ICA理事長Frank Kane氏が来日した。日本銅センター業務委員会メンバー、需要開拓戦略本部メンバー、“銅のある家”普及促進チームおよび横井専務をはじめとする日本銅センター事務局と親しく懇談し、親睦を深めた。



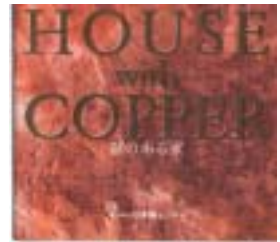
ICA理事長Frank Kane氏と懇談

その他ICA関連の活動

- ・2006年1月18～20日 Colin May氏（ICAアジア総括部長）来日
Copper in Homeプロジェクト打ち合わせ
- ・2006年2月1～3日 Tony Lea氏（ICAニューヨーク本部副社長）来日
抗菌関係プロジェクト他 打ち合わせ
- ・2006年3月2～3日 Colin May氏来日
ICAネットワーク会合事前打ち合わせ

銅のある家—HOUSE with COPPER—を刊行

住宅に用いられる銅製品をまとめたパンフレット「銅のある家」を刊行した。本パンフレットでは、銅のすぐれた特性が住宅に幅広く生かされた事例をはじめ、さらなる応用が期待される事例などを紹介している。「銅のある家」を通じ、銅が住宅のどのようなところに用いられているか、人間の生活にどのように貢献しているかなどへの理解をさらに深められる手引書となっている。



※「銅のある家」をご希望の方は、(社)日本銅センターまでご連絡ください。TEL: 03-3836-8821

住宅問題対策セミナーを開催

2月24日、日本銅センターが進める「銅のある家（Copper in Home）」活動の一環として、家の中の銅の需要促進を図るため、住宅関係者を対象に住宅問題対策セミナーを開催した。セミナーでは（株）佐藤住建・佐藤 実氏、（株）日本住宅新聞社・田部 義司氏、建築家・佐川 旭氏にご講演いただいた。とくに日本銅センターのアドバイザーである佐川氏には「これからの家づくり 本物の素材で」というテーマで家の中の銅の活用例について紹介があった。当日は約80名が参加し、熱心に耳を傾けられていた。



セミナーの様子

モデルハウスに銅製品を設置。 住宅分野への需要促進をはかる

日本銅センターでは、住宅に使用される銅の需要促進をはかるため、さまざまな事業活動を展開している。その一環として、このほど二つのモデルハウスに銅製床暖房、銅屋根、日用品、インテリア、給水給湯配管、中水利用の銅製タンクなどの銅製品を設置した。

このモデルハウスは、ABCハウジングワールド（東京都立川市）と成城住宅公園（東京都世田谷区）内の各一棟（ベルクハウス内）で、このゴールデンウィークにオープンした。

いずれのモデルハウスにも親子連れを中心に多くの来場者があり、設置された各種銅製品に熱い視線を投げかけていた。



設置された中水利用銅製タンク



銅屋根



モデルハウス（東京・立川）